

ロディ XP

取扱説明書

品質保証書付

E4

ECE R 44/03
03443307



お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。

このジュニアシートは、ヨーロッパ基準 ECE R44/03 を取得しています。

29ページの品質保証書の欄に、必要事項をご記入ください。

本書は、ベースプレートの底面に保管してください。(8ページ参照)

はじめにお読みください

安全にお使いいただくために	1
△ 緊急時の脱出	1
お使いいただけるお子さまの条件	1
取り付けできない座席	2
シートベルトの種類と使用上の注意点	3
△ 危険	4
△ 警告	5
△ 注意	6
梱包品と組み立てかた	7
各部のなまえ	8

使いかた	9
1. ベースプレートの取り付け	9
2. 車の座席に置く	10
3. 肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節	12
4. ショルダーサポートの位置調節	14

ジュニアモード	15
お子さまを座らせる前の準備	16
お子さまの座らせかた	17
ジュニアモードの完了チェック	18

ブースターモード	19
ジュニアシートとベースプレート	
のはずしかた	20
ベースプレートの座席からのはずしかた	20
背もたれのはずしかた	21
お子さまを座らせる前の準備	21
お子さまの座らせかた	22
ブースターモードの完了チェック	23

お手入れのしかた	24
----------	----

保管のしかた	27
--------	----

廃棄のしかた	27
--------	----

製品仕様	28
------	----

品質保証書	29
-------	----

角度チェッカー	裏表紙
---------	-----

安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

本書で示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。



表示	表示の内容
⚠️危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠️警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠️注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

⚠️ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がシートベルトをはずし、お子さまを車外に脱出させてください。

お使いいただけるお子さまの条件

本製品は、お子さまの成長に合わせて2段階の使いかたができます。

モード	ジュニアモード	ブースターモード
使用状態		
体重条件	15kg以上25kg以下	22kg以上36kg以下
身長目安	95～125cm	115～145cm
参考年齢	3才ころ～7才ころ	6才ころ～11才ころ
使用方法	車のシートベルトを背もたれのベルトガイドとアームレストの下に通して使用します。	背もたれをはずし、座面部にシートベルトを通して使用します。



参考年齢および身長は、あくまでも目安です。年齢や身長が上記を満たしていても、体重を満たしていないお子さまは、そのモードでは使用しないでください。

取り付けできない座席



次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

シートベルトの付いていない座席。

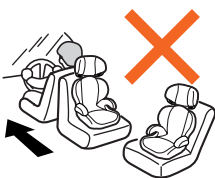


パッシブシートベルトの付いた座席。

パッシブシートベルトとは
...車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車にみられます。(オートマチックシートベルト)



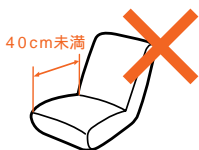
進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



座席の中央が極端に盛り上がっていて、取り付けたときに不安定になる座席。



座面の奥行きが40cm未満の座席。



2点式シートベルトの座席。



エアバッグ装備の座席。サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



極端なポケットシート。
...座面の中央が極端にへこんでいる座席。



シートベルトの取り付け幅が38cm未満の座席。



ジュニアシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。

はじめにお読みください

シートベルトの種類と使用上の注意点

本製品は、シートベルトの種類により使いかたが異なったり、使用できない場合があります。



必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

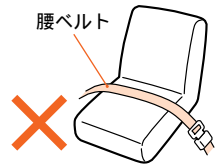
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



2点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。(2点式シートベルトには取り付けられません)



はじめにお読みください

車のシートベルトの種類 (シートベルトの方式)	特徴 (見分け方)	取り付け上の注意点	取り付けの可否
ELR 緊急ロック式巻取装置付き	ゆっくりと引くとベルトが自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	○
ALR/ELR チャイルドシート固定機能付き	ベルトをすべて引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(ベルトをすべて巻き戻すと解除される)	シートベルトをすべて引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能は解除して取り付けてください。	○
NR マニュアル式	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調節して取り付けてください。	○
NLR 非ロック式巻取装置付き	ロック機能のない巻取装置付きシートベルト。		○
ALR 自動ロック式巻取装置付き	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	使用できません。	×

⚠ 危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

使用条件に**適合しないお
子さま・座席**などでは使
用しないでください。



シートベルトや座席の
条件などにより、**取扱
説明書どおり**にしっかり
と固定できないときは、
他の座席に取り付け
てください。



お子さまがジュニア
シートの上に**立ったり、
中腰**になったり、
正座をしないように注
意してください。



エアバッグ装備の座席で
は**使用しない**でください。
衝突時、エアバッグ
の作動により大きな衝
撃を受け、危険です。
...**サイドエアバッグ**のみ
の場合には使用できます。



ご使用になるときは、
シートベルトが正しい位
置で調節されていること
を確認してください。



車に取り付けるときは、
必ず**車のシートベルト**で
固定してください。ひも
など、シートベルト以外
のもので固定しないで
ください。



はじめにお読みください

安全にお使いいただくために

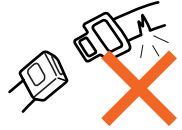
警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しが強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者が同乗してください。



車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。



衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締めつけられ、胸が圧迫されます。(3ページ参照)



シートベルトをたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



次のような使いかたは、同乗している方に、危険をまねくおそれがあります

お子さまがジュニアシートに乗っていないときでも、シートベルトで固定しておいてください。車内に転がり、運転の妨げとなる場合があります。



2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けられません。緊急時の脱出の妨げになります。



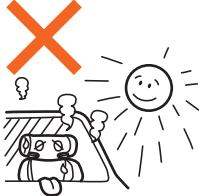
シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けられないでください。



はじめにお読みください

⚠ 注意

直接日光が当たると、本体やシートベルトの差込み金具などが熱くなり、**やけどをするおそれ**があります。各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。



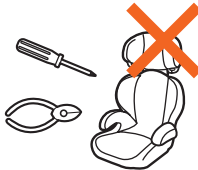
走行中は、ジュニアシートの**操作や調整をしない**てください。また、同乗している他のお子さまがジュニアシートを操作しないようにしてください。



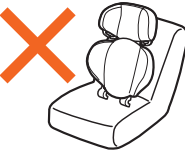
ジュニアシートを**車のシート可動部やドアにはさまない**ように、十分注意してください。



ジュニアシートを**改造**しないでください。また、本書に記載されていない**取り扱い**をしないでください。



背もたれのみでは、**使用**しないでください。



車の座席に**クッションや座ぶとん**などを敷いたまま、**取り付け**しないでください。しっかり固定されません。



通常の椅子として使用すると、**転倒**してけがの原因となります。本来の目的以外には**使用**しないでください。



風雨にさらさないでください。



シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材を**はずしたまま**使用しないでください。また、本製品以外のものと**取り替えたり**しないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)



固定されていない物を車内に**置か**ないでください。急ブレーキや衝突時に**お子さま**などに当たる可能性があります。



組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から**背もたれ**がはずれることのないよう、**しっかりと支**えてください。



はじめにお読みください

梱包品と組み立てかた

組み立て前に下記の各部品がそろっていることを確認してください。

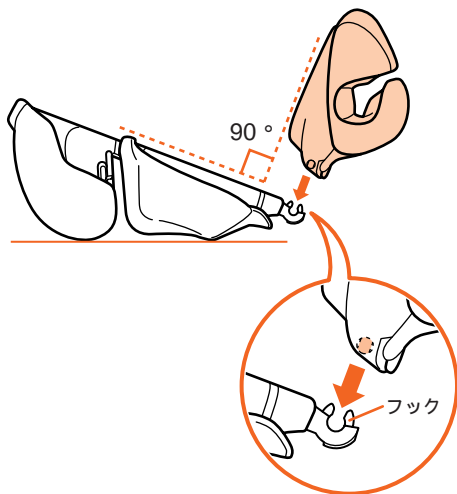
梱包品	座面	1	ベースプレート	1
	背もたれ.....	1	取扱説明書(本書).....	1

組み立てかた

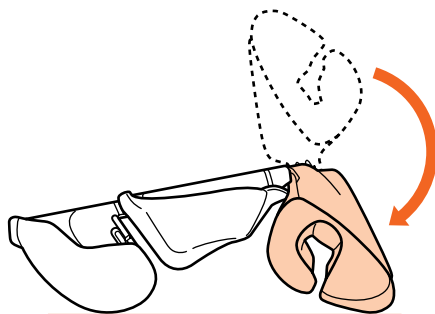


組み立てたときに、背もたれと座面の接合部に指などはさまないように注意してください。
組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面から背もたれがはずれることのないようにしっかりと支えてください。

- 1 背もたれの前面を下にして平らな場所に寝かせます。
座面を90°の角度に保ち、背もたれのフックに差し込みます。

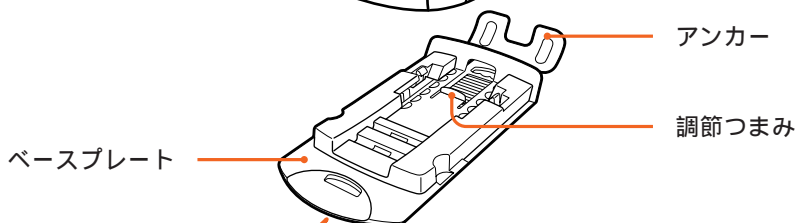
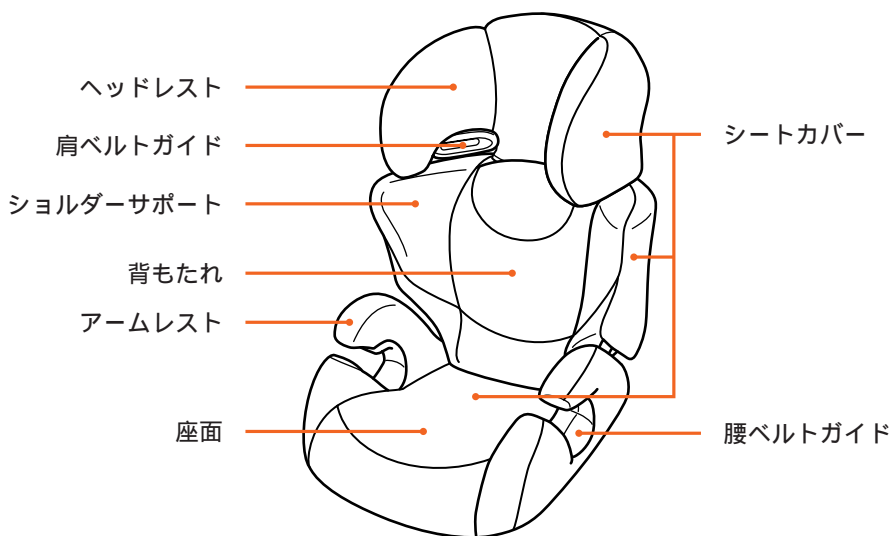


- 2 座面を下向きに回転させ、背もたれを起こします。
座面のシートカバーをはさまないようにしてください。

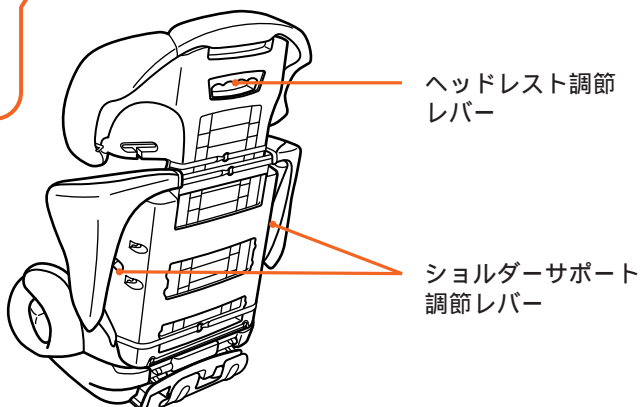
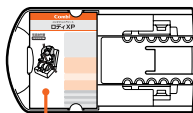


各部のなまえ

はじめにお読みください



底面



使いかた

1 ベースプレートの取り付け

車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

車の座席の形状などにより、使用できない場合があります。2ページをご覧ください。



危険

エアバッグが装着された座席では使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

ベースプレートのみで取り付けしないでください。必ずシートベルトを使用して取り付けてください。



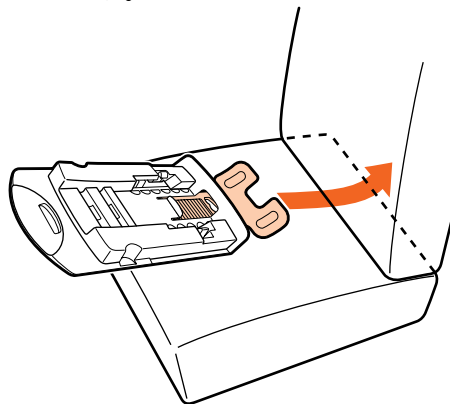
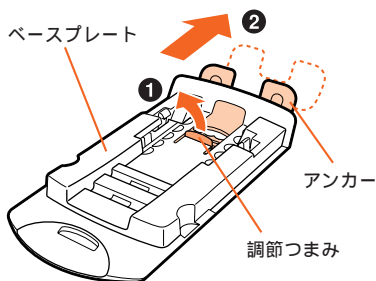
警告

2ドア、3ドア車で後座席に人が乗車する場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席には取り付けしないでください。

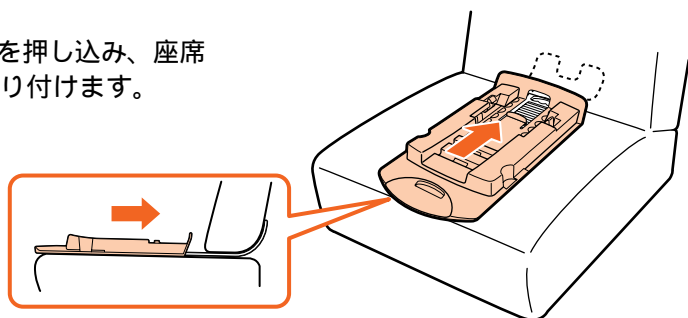
使いかた

- 1 ベースプレートの調節つまみを引き上げながら、
- 2 アンカーを伸ばします。

- 2 車の座席の座面と背もたれの間、アンカーの端を深く差し込みます。



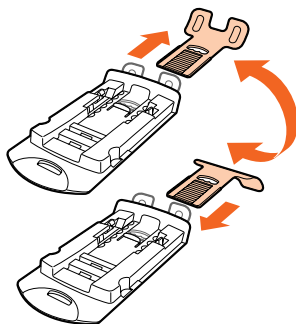
3 ベースプレートを押し込み、座席にしっかりと取り付けます。



アンカーが入らなかったり、しっかりと差し込めない場合

いったんアンカーをベースプレートから取りはずして、上下逆さにして(アンカーを裏返して)ベースプレートに差し込み、手順2、3の要領で取り付けてください。

アンカーが入らなかったり、しっかりと差し込めない場合は、アンカーをベースプレートから取りはずしてお使いください。その場合は、簡易リクライニングは使用できません。

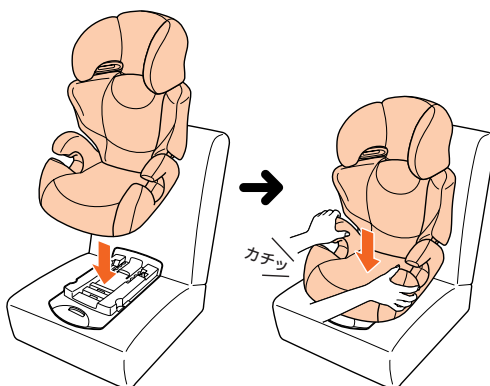


使
い
か
た

2 車の座席に置く

本体とベースプレートの組み立て

ジュニアシートを車の座席の背もたれにしっかりと押さえつけながら、ベースプレート上に置き、『カチッ』と音がするまで座面の前後を押し下げます。



簡易リクライニング

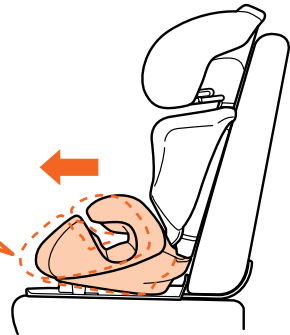
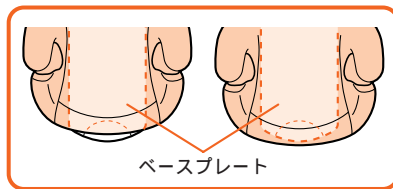
このベースプレートを使うことにより、2段階にリクライニングさせることができます。

アンカーが入らなかったり、しっかりと差し込めない場合は、アンカーをベースプレートから取りはずしてお使いください。その場合は、簡易リクライニングは使用できません。

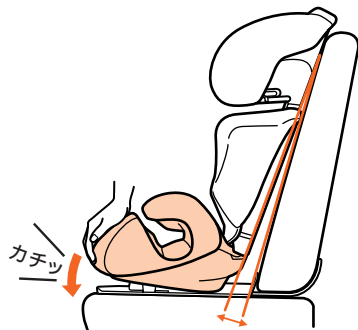
- 1 片手でベースプレートの前部を押さえながら、座面の前部のくぼみをつかんでベースプレートからはずし、持ち上げます。



- 2 座面を前に引き出します。



- 3 もう一度座面の前部を押し下げます。『カチッ』と音がるのを確認してください。



3 肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節

お子さまの体格にあわせて、背もたれの高さを調節し、肩ベルトガイドの高さを適切な高さにしてください。

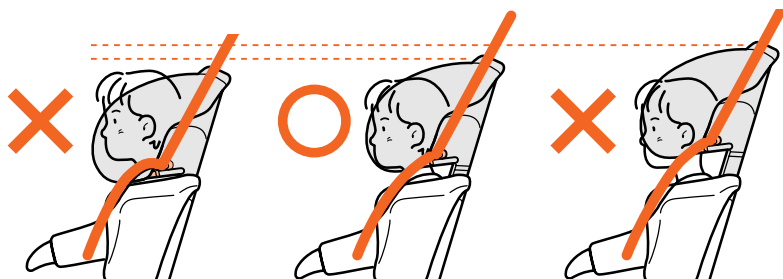


肩ベルトガイドは、車のシートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節し直してください。

お子さまの後頭部が、ヘッドレストの一番高い位置よりも上に出る場合は、背もたれを取りはずしてご使用ください。(21ページ参照) そのまま使用すると、事故などの衝突時に、大変危険です。

肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さの目安

肩ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。

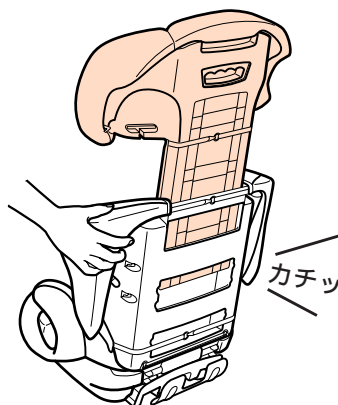
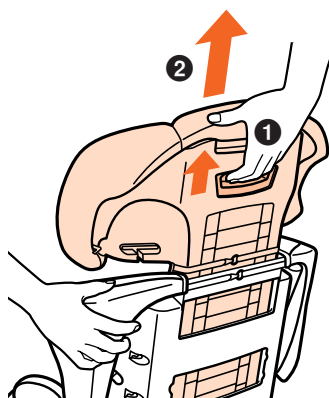


肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節

肩ベルトガイドの高さは8段階に調節できます。

- 1 **①**ヘッドレスト調節レバーを引き、
②片手で背もたれを押さえながらヘッドレストを引き上げます。

- 2 適切な高さでヘッドレスト調節レバーをはなし、『カチッ』と音がするのを確認します。



指はさみにご注意ください。

4 ショルダーサポートの位置調節

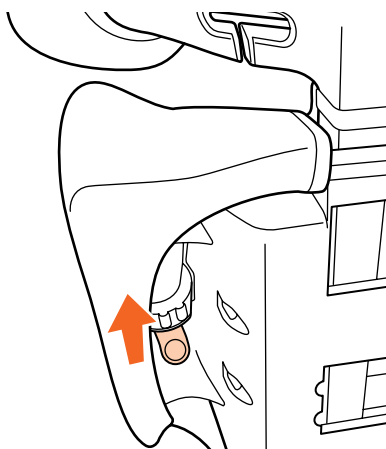
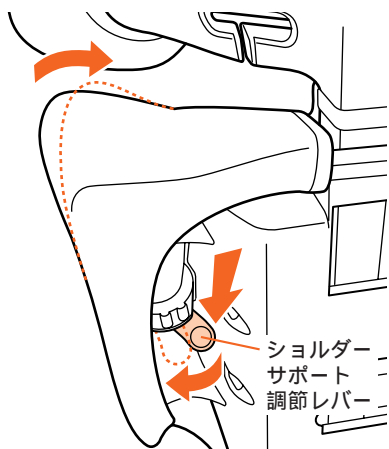
ショルダーサポートとお子さまの肩のすき間は、できるだけ小さくなるように調節してください。

ショルダーサポートの調節は、2段階です。

ショルダーサポートの位置調節

1 背もたれ背面の両脇にあるショルダーサポート調節レバーを押し下げ、右または左に止まるまで回します。

2 レバーを上げて、しっかりと止まっていることを確認します。次にもう一方のショルダーサポートを調節します。



使
い
か
た

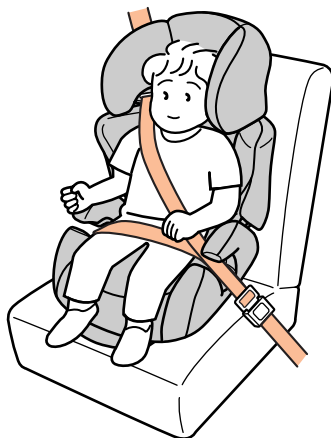
ジュニアモード

体重条件..... 15 kg以上～25 kg以下

身長を目安..... 95 cm～125 cm程度

参考年齢..... 3才ころ～7才ころ

車のシートベルトをヘッドレストの肩ベルトガイドと座面の腰ベルトガイドに通し使用します。



危険

必ず3点式シートベルトの座席で使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。



警告

チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。

お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、3ページをご覧ください)

シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

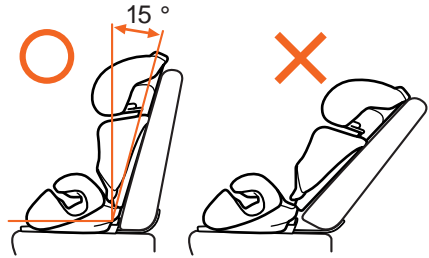
車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

お子さまを座らせる前の準備

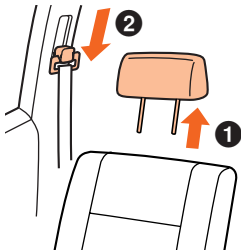
警告

車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。

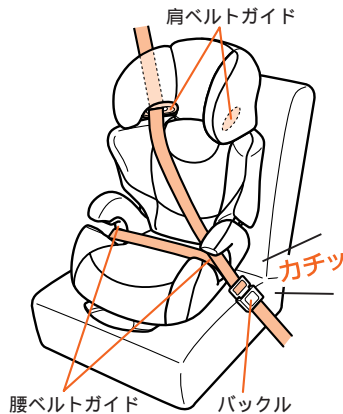
車の座席角度に合わせて、15°前後の傾きで使用してください。角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。



- 1 ①座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、
- ②シートベルトの肩の高さが調節できる場合は下げおきます。



- 2 ジュニアシートを車の座席に置き、シートベルトを引き出して、図のように肩ベルトガイドと腰ベルトガイドに通し、バックルに差し込みます。



お子さまを座らせていないときは、つねにこの状態にしておいてください。

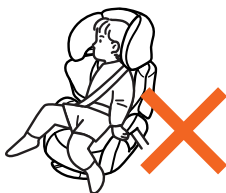
ジュニアモード

お子さまの座らせかた

お子さまを、座面に深く座らせてください。

お子さまを図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

警告



極端に体を傾けて座っている。



中腰・正座・立てひざなどをする。



のけぞる、前かがみになる。

注意

背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。注意してください。

- バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、シートベルトを引き出して図のようにバックルに差し込みます。



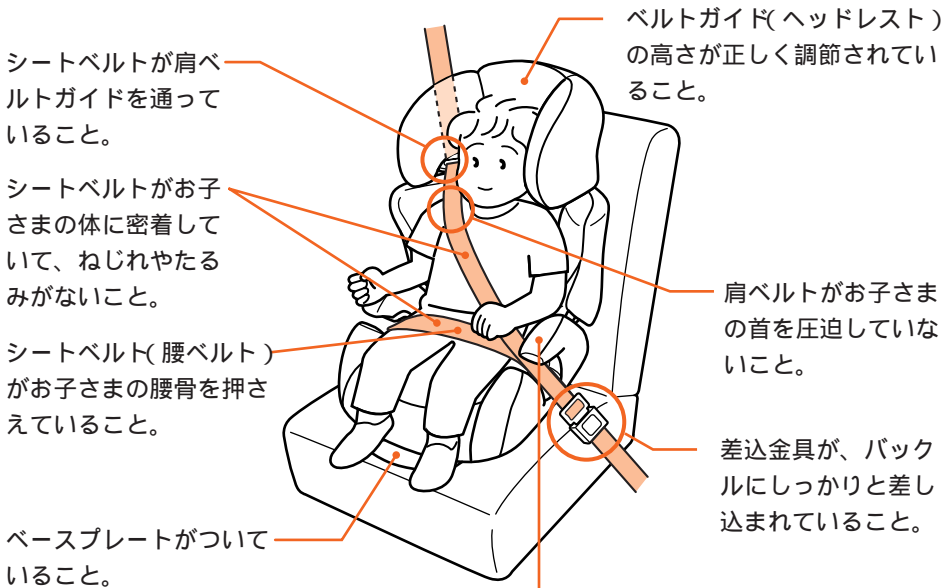
警告

お子さまが1人で乗り降りすると、車の座席からずり落ちたりするおそれがあります。必ず、保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
お子さまの腕は、必ずシートベルトの上になるようにしてください。

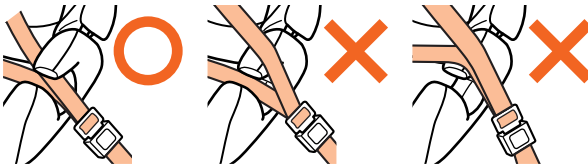


ジュニアモードの完了チェック

お子さまを座らせ、シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。



シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)が腰ベルト
ガイドを通っていること。



警告 これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、16～17ページの手順の必要なステップを、もう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

注意 必ずベースプレートを使用してください。

ジュニアモード

ブースターモード

体重条件.....22kg以上～36kg以下

身長を目安.....115cm～145cm程度

参考年齢.....6才ころ～11才ころ

背もたれをはずし、座面にシートベルトを通して使用します。



必ず3点式シートベルトの座席で使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。



チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。

お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、3ページをご覧ください)

シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

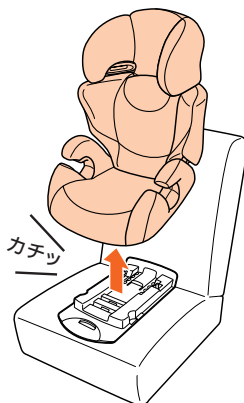
車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ジュニアシートとベースプレートのはずしかた

- 1** 片手でベースプレートの前部を押さえながら、座面の前部のくぼみをつかみ、ベースプレート前部のロックをはずします。

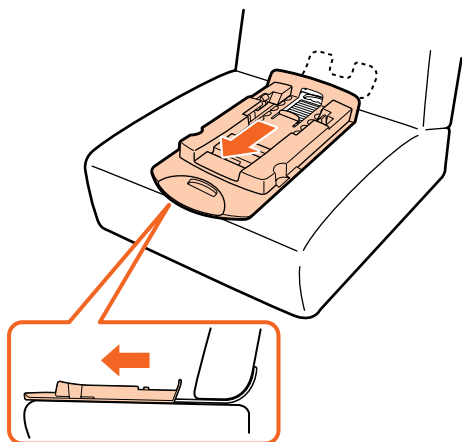


- 2** 座面の後部を持ち上げて、ベースプレート後部のロックをはずし、本体を持ち上げます。

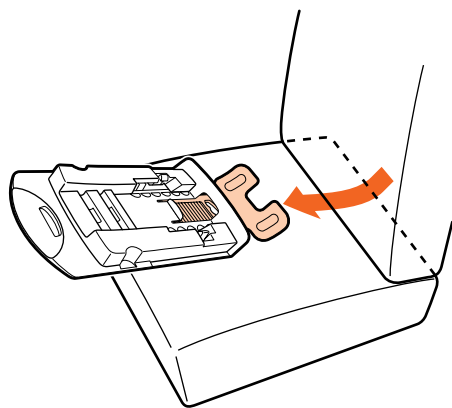


ベースプレートの座席からのはずしかた

- 1** ベースプレートの調節つまみを引き上げてベースプレートを少し引き出します。

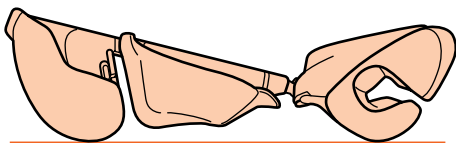


- 2** ベースプレート前部を、車の背もたれ方向に持ち上げて、座席から引き抜きます。

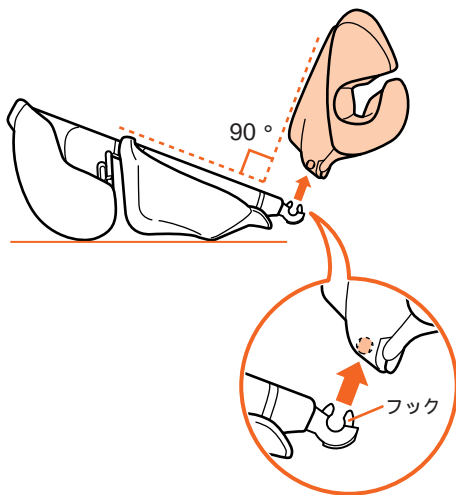


背もたれのはずしかた

- 1 背もたれと座面の前面を下にして平らな場所に寝かせます。



- 2 座面を上向きに回転させ、90°の角度にして背もたれのコックから引き抜きます。



お子さまを座らせる前の準備



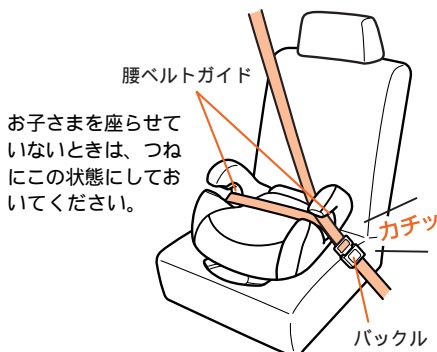
車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあります。



- 1 車の座席のヘッドレストを取りはずしている場合は取り付けます。

- 2 ベースプレートを取り付け、座面を車の座席に置きます。(詳しくは、9～10ページをご覧ください)

- 3 図のように腰ベルトガイドにシートベルトを通し、バックルに差し込みます。



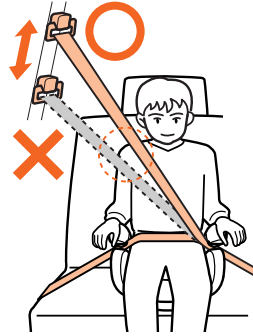
お子さまを座らせていないときは、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

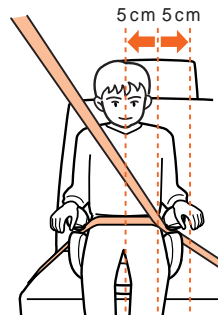
- 1** バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、シートベルトを引き出して図のようにバックルに差し込みます。



- 2** シートベルトの肩の高さが調節できる場合は、お子さまの肩にかかるように調節します。



- 3** シートベルトがお子さまの肩にかからない場合は、ジュニアシートを左右に5cm程度の範囲で移動することにより調節することができます。



お子さまの腕は、必ずシートベルトの上になるようにしてください。

⚠ 警告



ブースターモード

ブースターモード

ブースターモードの完了チェック

取り付けが終わったら、ブースターが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

肩ベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。

シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。

腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。

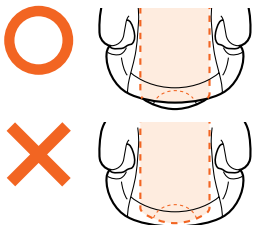
ベースプレートがついていること。

車の座席のヘッドレストがはずされていないこと。

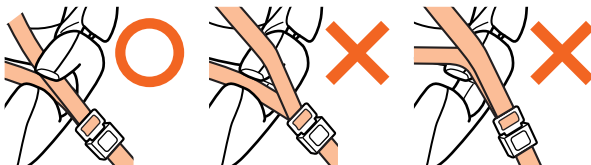


差込金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。

簡易リクライニングしていないこと。



シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)が腰ベルトガイドを通っていること。



これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、21～22ページの手順の必要なステップを、もう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



必ずベースプレートを使用してください。

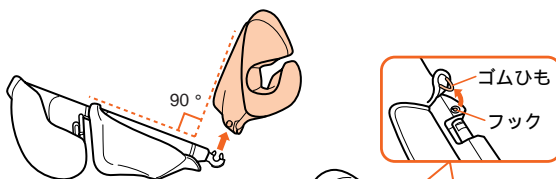
お手入れのしかた

次ページに続く

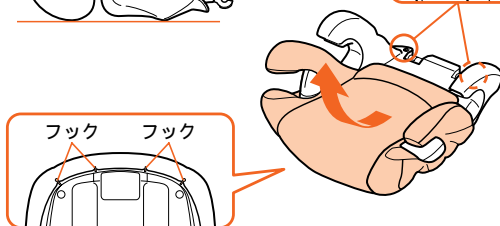
シートカバーの取りはずしかた

注意 シートカバーをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(安全性能に影響を与えるおそれがあります)

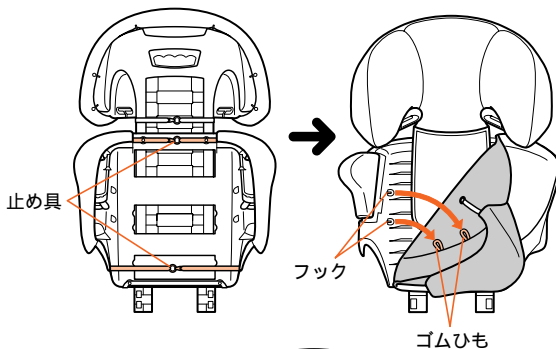
- 1** ベースプレートをはずし、ジュニアシートの座面と背もたれをはずします。



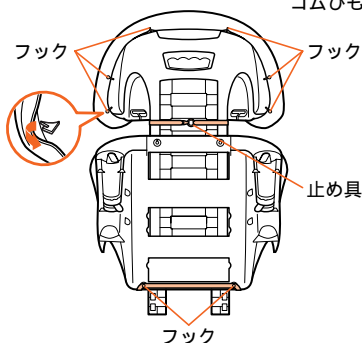
- 2** 座面のフック6カ所をはずして、シートカバーを取りはずします。



- 3** 背もたれ背面の止め具と正面のフック4カ所をはずして、シートカバーを取りはずします。



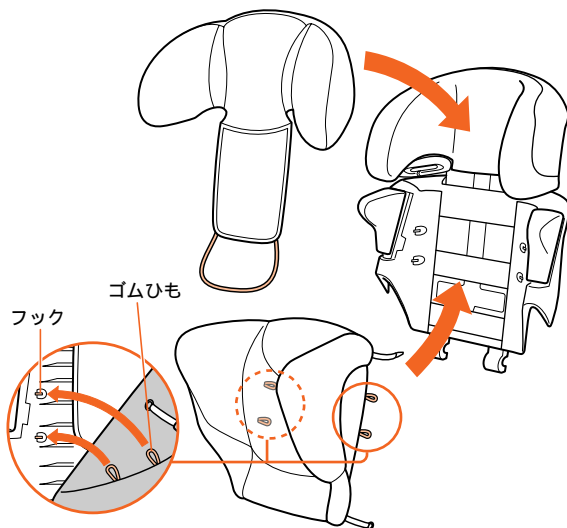
- 4** ヘッドレスト背面の止め具とフック8カ所をはずして、シートカバーを取りはずします。



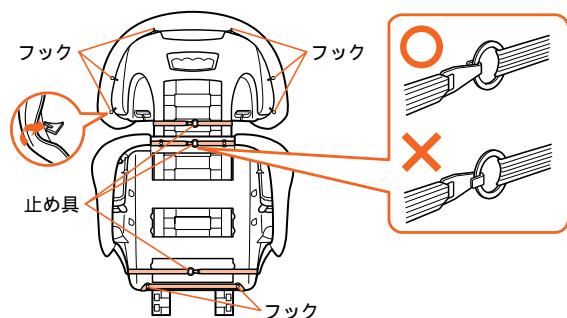
お手入れのしかた

シートカバーの取り付けかた

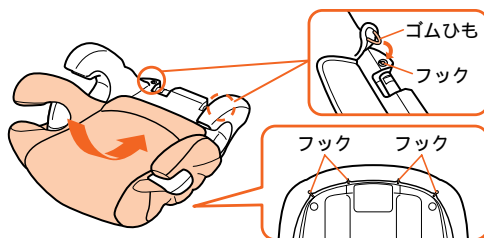
- 1** ヘッドレスト、背もたれの順にシートカバーをかぶせます。
背もたれ正面の4カ所のフックを引っかけます。



- 2** ヘッドレストと背もたれ背面の止め具(3カ所)をとめます。
(車のシートを傷つけるおそれがありますので、止め具の裏表をまちがえないようにしてください)
ヘッドレストのフック8カ所を引っかけます。









- 3** 座面は、シートカバーを腰ベルトガイドに沿ってはさみ込み、座面にかぶせて6カ所のフックに引っかけます。



- 4** ジュニアシートの座面と背もたれを取り付けます。

シートカバーの洗いかた


シートカバーを洗濯するときには、次のことを守ってください。

 <p>手洗い 30</p>	液温は30 を上限として手洗いしてください。		漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。		ドライクリーニングはしないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。		日陰で平干ししてください。

蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

本体のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

 警告
中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた

本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、座面の底面にはさみ込んで保管してください。

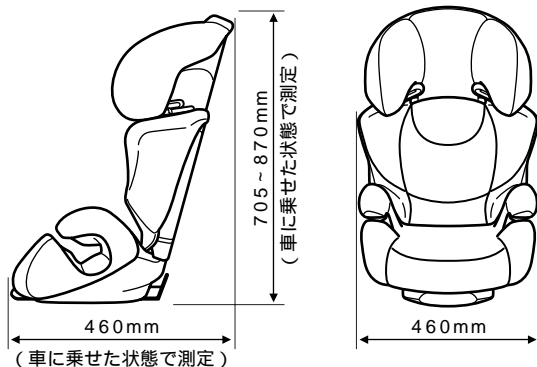
廃棄のしかた

お住まいの各自治体の規定にしたがい処分、廃棄してください。

衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないように縫製品などはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品サイズ



製品重量 : 4.7kg

材質 : ・本体...ポリプロピレン
・ベースプレート...ポリプロピレン
・シートカバー
表生地...ポリエステル、綿混紡
クッション材...ウレタンフォーム、発泡材

Combi

コンビ
ロディXP

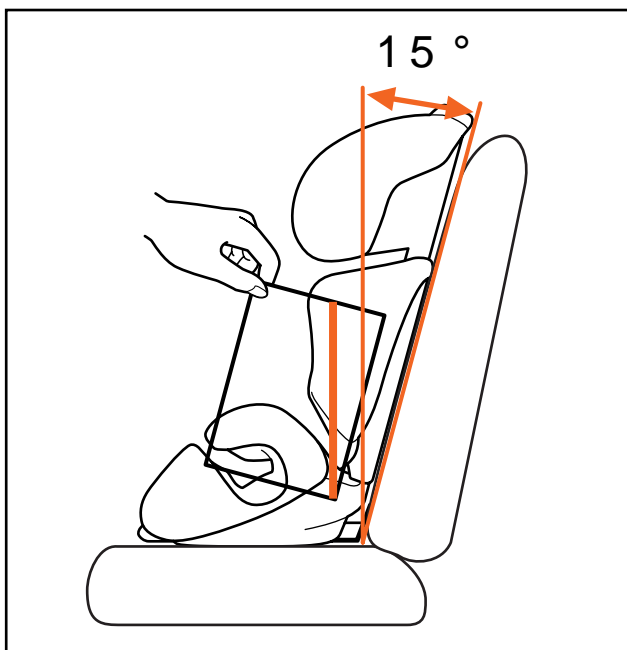
角度チェッカー

ジュニアシートを車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてご利用ください。

ジュニアシートを車の座席角度に合わせて、15度前後に傾けます。

図のように、本書をジュニアシートの背もたれに合わせます。

赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。



このラインを垂直にします。

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマーブラザ(Customer Service Center)までご連絡ください。

コンシューマーブラザ(Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271

TEL.(048)797-1000

FAX.(048)798-6109

コンシューマーブラザ(Customer Service Center) / 西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18

TEL.(06)6536-0456

FAX.(06)6536-4468

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>